

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年8月10日

**【四半期会計期間】** 第91期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

**【会社名】** 株式会社ミクニ

**【英訳名】** MIKUNI CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 生田 久貴

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区外神田六丁目13番11号

**【電話番号】** 03(3833)0392(代表)

**【事務連絡者氏名】** 経理室長 池上 宏

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区外神田六丁目13番11号

**【電話番号】** 03(3833)0392(代表)

**【事務連絡者氏名】** 経理室長 池上 宏

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第90期 第1四半期連結 累計期間	第91期 第1四半期連結 累計期間	第90期
会計期間		自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高	(百万円)	19,159	20,208	82,704
経常利益	(百万円)	575	445	2,051
四半期(当期)純利益	(百万円)	192	106	1,602
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	547	414	1,768
純資産額	(百万円)	14,724	16,131	15,887
総資産額	(百万円)	76,455	80,198	79,087
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	5.67	3.14	47.27
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	16.87	17.62	17.65

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高は、消費税等抜きで表示しております。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における経済情勢につきましては、東日本大震災後の復興需要や円高による厳しい環境のなかでの輸出の持ち直しやエコカー補助金効果による自動車需要の喚起など、景気は緩やかながらも回復の動きが見られる一方で、欧州債務問題の波及懸念の強まりやこれまで堅調に推移してきた新興国経済の成長の鈍化など、景気は先行き不透明感が強まる状況で推移しました。

このような経営環境のなかで、当グループは昨年10月に発生しましたタイ現地法人における洪水被害からの復旧過程においてグループ全体で取り組んだ代替生産や部品調達面での混乱の影響も受けるなか、国内におけるエコカー補助金効果による需要の喚起などを背景として自動車関連品の売上が堅調に推移した結果、売上高につきましては、202億8百万円（前年同期比 5.5% 増）となりました。損益につきましては、洪水被害による異常操業や代替生産にかかるコストのほか、新興国市場における賃金の上昇などの要因もあり、6億2千7百万円の営業利益（前年同期比 19.6% 減）、4億4千5百万円の経常利益（前年同期比 22.6% 減）、1億6百万円の四半期純利益（前年同期比 44.6% 減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間において、従来「営業外収益」に区分掲記していた科目につきましては、表示方法の変更を行っておりますので、当第1四半期報告書において表示されている過年度の営業利益につきましても遡及処理を行っております。

セグメントの業績は以下の通りであります。

#### 自動車関連品事業

四輪車・二輪車・汎用エンジン用燃料供給装置類やエンジン関連機能部品類の製造販売を中心とする当事業の売上高は、前年同期に比べて、四輪車用製品の国内向けにつきましては、昨年は東日本大震災によるサプライチェーンの混乱などによる減産の影響を受けたことに対して、当第1四半期連結累計期間はエコカー減税や補助金効果などにより増加しました。二輪車・特機用製品につきましては、船外機用製品は増加しましたが、大型二輪車市場の低迷が続く欧州向けが減少するほか、小型二輪車につきましても、主にタイの洪水被害の影響によりアセアン地域での減少が影響し、全体では微減となりました。汎用エンジン用製品につきましては増加しました。

その結果、当事業の売上高は、143億7百万円（前年同期比 8.4% 増）となり、営業損益につきましては、6億2千1百万円（前年同期比 2.1% 増）の営業利益となりました。

### 生活機器関連品事業

ガス機器用制御機器類の売上高は、前年同期に比べて、国内では震災後の復興需要や節電意識によるガス器具への意識の高まりによる需要が一巡したことなどを要因として減少しました。中国におきましては、賃金の上昇や為替の影響による厳しい輸出環境のなかで、経済成長が鈍化したことによる住宅着工件数の低迷などを要因として減少しました。

その結果、当事業の売上高は、12億9千3百万円（前年同期比 9.4% 減）となり、営業損益につきましては、3千5百万円（前年同期は3千万円の営業利益）の営業損失となりました。

### 航空機部品輸入販売事業

航空機部品類の売上高は、前年同期に比べて、部品類の国産化の動きや販売契約が主に米ドル建となっていることから、引き続き円高による為替の影響を受けるなか、総体的にはエンジン部品を中心とした需要は堅調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は、30億1千万円（前年同期比 2.5% 増）となりましたが、営業損益につきましては、1千1百万円（前年同期比 83.3% 減）の営業利益となりました。

### その他事業

芝管理機械等の輸入販売、車輦用暖房器類、加湿器・介護機器等の製造販売を中心とする当事業の売上高は、前年同期に比べて、芝管理機械は、設備投資が抑えられるなどの状況ではありますが、拡販などにより増加しました。車輦用暖房器類につきましては、建設機械のモデルチェンジ前の駆け込み需要があり増加しました。コンシューマ向け携帯用加湿器につきましては、シーズンオフのため低迷しました。一方、昨年より販売を開始しました空気洗浄機の売上は堅調に推移するとともに、介護機器につきましても施設用の需要が増加しました。

その結果、当事業の売上高は、15億9千6百万円（前年同期比 0.3% 増）となりましたが、営業損益につきましては、2千9百万円（前年同期比 58.7% 減）の営業利益となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、801億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べて11億1千万円増加しました。

流動資産は、405億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億9千6百万円増加しました。これは主として、現金及び預金が2億2千2百万円減少した一方で、原材料及び貯蔵品が4億1千5百万円、仕掛品が2億4千5百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、396億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億1千4百万円増加しました。これは主として、機械装置及び運搬具が3億9千9百万円、建設仮勘定が2億5千9百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、640億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億6千6百万円増加しました。

流動負債は、470億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億5千9百万円増加しました。これは主として、短期借入金が11億4千8百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、169億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億9千3百万円減少しました。これは主として、長期借入金が9億5百万円減少したことによるものであります。

純資産は161億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億4千4百万円増加しました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、8億4千万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	34,049,423	34,049,423	東京証券取引所 (市場第二部)	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式で あり、単元株式数は1,000株で あります。
計	34,049,423	34,049,423		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	34,049,423	-	2,215	-	1,700

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 154,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 33,577,000	33,577	-
単元未満株式	普通株式 318,423	-	-
発行済株式総数	34,049,423	-	-
総株主の議決権	-	33,577	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。  
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ミクニ	東京都千代田区外神田 6丁目13-11	154,000	-	154,000	0.45
計	-	154,000	-	154,000	0.45

（注）当第1四半期末現在の自己株式数は、155,917株であります。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,510	7,288
受取手形及び売掛金	*1 17,339	*1 17,164
商品及び製品	5,943	5,751
仕掛品	2,695	2,940
原材料及び貯蔵品	1,511	1,927
その他	5,236	5,563
貸倒引当金	60	62
流動資産合計	40,176	40,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,330	9,272
機械装置及び運搬具（純額）	6,775	7,175
工具、器具及び備品（純額）	1,557	1,790
土地	12,763	12,799
建設仮勘定	1,764	2,023
有形固定資産合計	32,191	33,060
無形固定資産		
のれん	70	53
その他	456	483
無形固定資産合計	526	537
投資その他の資産	*2 6,192	*2 6,027
固定資産合計	38,910	39,625
資産合計	79,087	80,198
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	*1 11,886	*1 12,770
短期借入金	21,988	23,137
1年内返済予定の長期借入金	4,845	4,587
未払法人税等	159	139
賞与引当金	1,126	489
災害損失引当金	194	-
その他	5,220	5,957
流動負債合計	45,421	47,081
固定負債		
長期借入金	9,132	8,227
退職給付引当金	4,663	4,682
その他	3,983	4,075
固定負債合計	17,778	16,985
負債合計	63,200	64,066

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,215	2,215
資本剰余金	1,700	1,700
利益剰余金	7,020	6,957
自己株式	45	46
株主資本合計	10,889	10,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	828	554
繰延ヘッジ損益	2	0
土地再評価差額金	4,910	4,910
為替換算調整勘定	2,674	2,162
その他の包括利益累計額合計	3,067	3,301
少数株主持分	1,929	2,003
純資産合計	15,887	16,131
負債純資産合計	79,087	80,198

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	19,159	20,208
売上原価	16,281	17,320
売上総利益	2,877	2,888
販売費及び一般管理費	2,096	2,260
営業利益	781	627
営業外収益		
受取利息	13	6
受取配当金	33	31
受取賃貸料	53	41
その他	30	21
営業外収益合計	131	101
営業外費用		
支払利息	96	109
持分法による投資損失	19	3
退職給付会計基準変更時差異の処理額	48	48
為替差損	103	75
その他	68	47
営業外費用合計	337	284
経常利益	575	445
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除売却損	5	5
投資有価証券評価損	-	29
災害による損失	36	-
その他	3	1
特別損失合計	45	37
税金等調整前四半期純利益	530	408
法人税等	282	376
少数株主損益調整前四半期純利益	247	31
少数株主利益又は少数株主損失( )	55	74
四半期純利益	192	106

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	247	31
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	274
繰延ヘッジ損益	21	3
為替換算調整勘定	288	650
持分法適用会社に対する持分相当額	8	9
その他の包括利益合計	299	382
四半期包括利益	547	414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455	340
少数株主に係る四半期包括利益	92	73

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。 なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	
1. 税金費用の計算	税金費用については、一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(四半期連結損益計算書) 前第1四半期連結累計期間において、「営業外収益」に区分掲記していた「スクラップ売却益」は、主に原材料の売却額であり、今後継続して発生すると見込まれるため、当第1四半期連結累計期間より、「売上原価」から控除する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。 この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「スクラップ売却益」に表示していた31百万円は、「売上原価」から控除しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	70百万円	75百万円
支払手形	308百万円	347百万円

2 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
投資その他の資産	159百万円	159百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	889百万円	800百万円
のれんの償却額	18百万円	18百万円
負ののれんの償却額	1百万円	1百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	169	利益剰余金	5	平成23年3月31日	平成23年6月30日

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	169	利益剰余金	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連品	生活機器 関連品	航空機部品 輸入販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,201	1,428	2,937	17,567	1,591	19,159	-	19,159
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	13,201	1,428	2,937	17,567	1,591	19,159	-	19,159
セグメント利益	609	30	70	709	71	781	-	781

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、芝管理機械等の販売事業、車輻用暖房器の製造販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連品	生活機器 関連品	航空機部品 輸入販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,307	1,293	3,010	18,611	1,596	20,208	-	20,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	14,307	1,293	3,010	18,611	1,596	20,208	-	20,208
セグメント利益 又は損失( )	621	35	11	598	29	627	-	627

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、芝管理機械等の販売事業、車輻用暖房器の製造販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5.67円	3.14円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	192	106
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	192	106
普通株式の期中平均株式数(千株)	33,898	33,893

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

株式会社ミクニ  
取締役会 御中

監査法人 日本橋事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 渡邊 均 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小倉 明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミクニの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミクニ及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。